

2019 年度文系チャレンジ講座（第6回）を実施しました

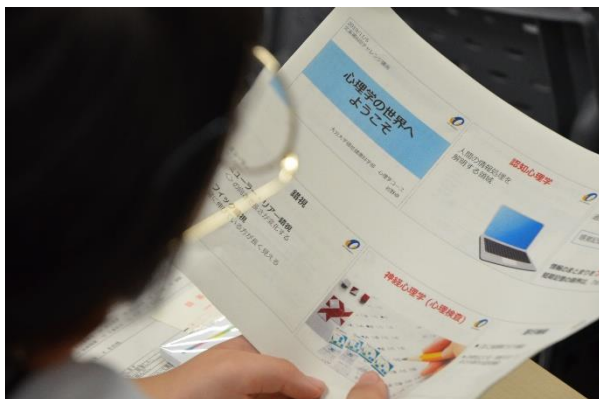
11月6日（水）に福祉健康科学部の岩野卓先生を講師に迎え、「心理学の世界へようこそ」というテーマで、文系チャレンジ講座の第6回を実施しました。遠隔配信した臼杵、中津南、安心院、大分雄城台、国東、大分商業、大分西、大分鶴崎、日田、別府翔青、三重総合および来学受講した大分東明、由布の13校378名が受講しました。

講師の岩野卓先生は様々な仕掛けを用意し、高校生が心理学を体感できるように講義を進められました。初めに高校生の心理学に対するイメージを確認した上で、心理学は「心（行動）の科学」とであると定義を確認され、心理学の領域を説明したうえで、領域別に講義されました。



大学の実験を例に挙げ、役割（環境）が行動を規定することを説明され、高校生の関心事項である「どうすればモテるか」について心理学的に考察されました。「健康心理学」については高校生が日常的に対面する「眠気」と「ストレス」の対処法について、心理学の視点からその対処方法を説明され、「臨床心理学」については、カウンセリングの手法について紹介されました。

最後に、心理学を学べば日常的なコミュニケーションのスキルが上がり、自分の行動の制御方法がわかる等、



「認知心理学」、「神経心理学（心理検査）」についてはワークやテストを通して、人間の記憶にかかわる「チャンク」や「錯視」（ミュラー・リアー錯視、フィック錯視、エビングハウス錯視）、遂行機能について体験的にわかりやすく説明されました。「社会心理学」についてはスタンフォード



実社会で役に立つことを再確認されました。

講義後のアンケート調査では、「総合的に判断して授業がよかった」（100％「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計。以下同じ）、「教員は真剣に取り組んでいた」（99％）、「受講生は授業に意欲的に取り組んでいた」（98％）という結果でした。遠隔配信については、「音声はよく聞こえた」（99％）、「映像はよく見えた」（97％）という結果が出ました。